

令和5年度 アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）調査結果

【結果報告書・概要版】

●調査の目的

「令和5年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）」は、関市民のまちづくりへの意識等を把握し、政策への反映に生かすことを目的として実施しました。

●調査の概要

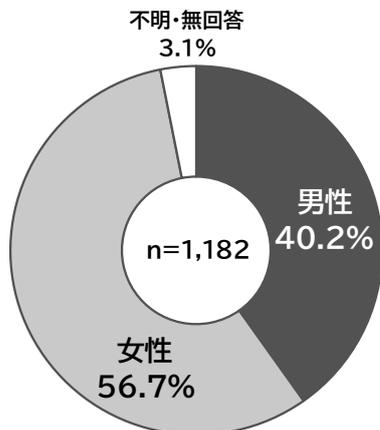
- ① 調査対象者 令和5年11月現在、関市に居住している満16歳以上の市民3,000人
- ② 抽出法 住民基本台帳から対象者を無作為に抽出
- ③ 調査期間 令和5年11月15日～令和5年12月1日
- ④ 調査方法 郵送法（郵送配布 - 郵送回収またはインターネット回答）
- ⑤ 回収結果 1,182票（回収率：39.4%）
- ⑥ 報告書の見方

- ・グラフ中の「n」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。
- ・グラフ中の「%」は、小数第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。

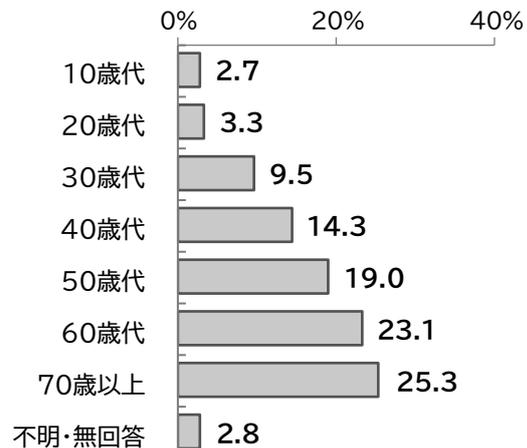
1 回答者の属性

回答者について、性別は女性がやや多く、年齢は「70歳以上」、次いで「60歳代」が多くなっています。

●回答者の性別



●回答者の年齢



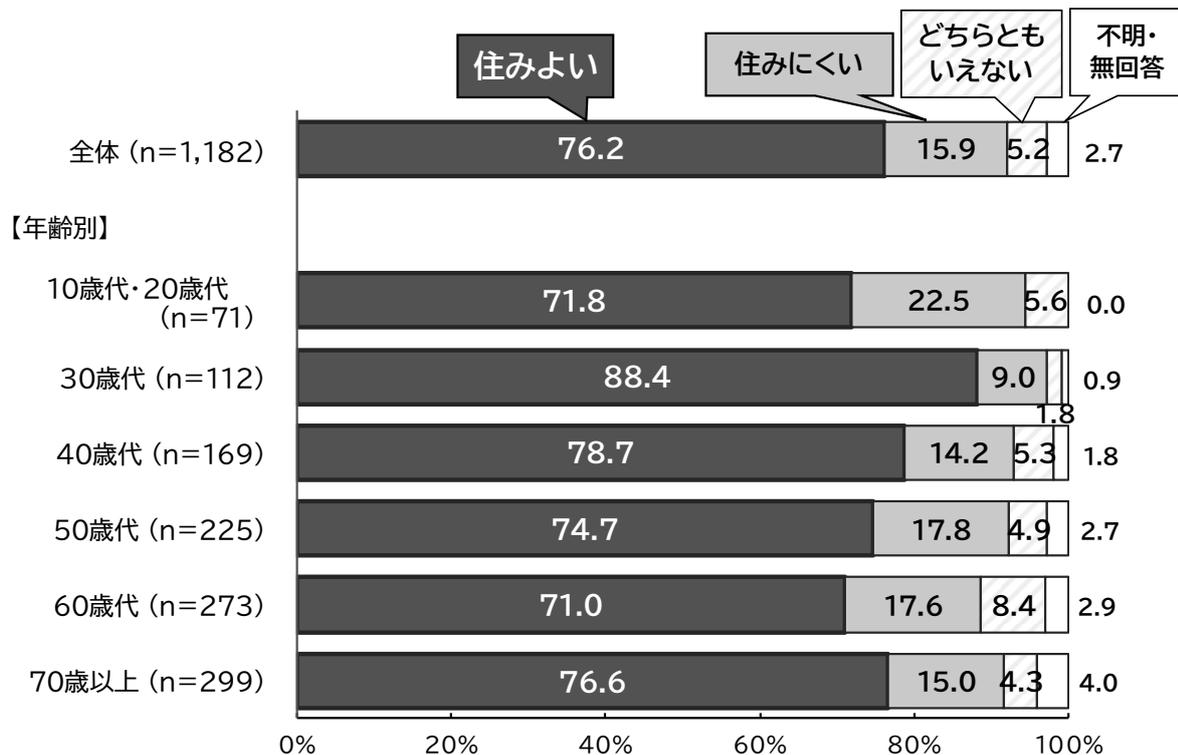
(n=1,182)

2

関市への居住意向について

● 「あなたは関市が住みよいまちだと感じますか」

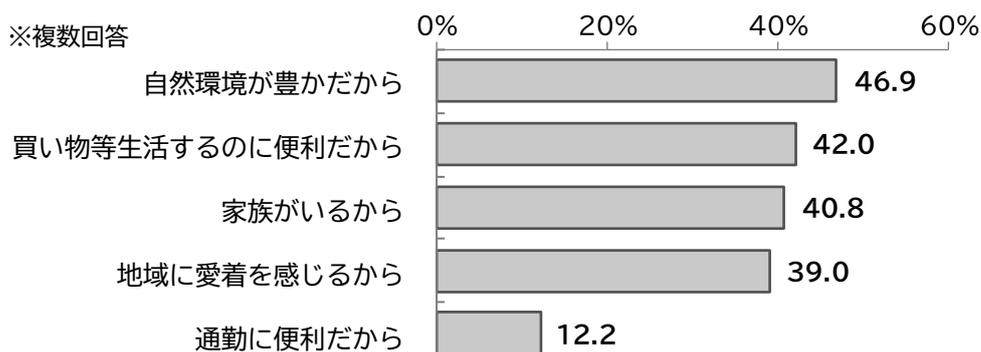
関市が住みよいまちと感じるかについて、全体の76.2%が関市を『住みよい』と感じています。年齢別にみると、30歳代で『住みよい』が9割弱と高くなっています。一方、10歳代・20歳代で『住みにくい』と回答した割合が他の年代に比べてやや高くなっています。



※『住みよい』は、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合算、
『住みにくい』は、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合算。

● 「関市が住みよいと思う理由は何ですか」 <上位5位> (※『住みよい』を選んだ方)

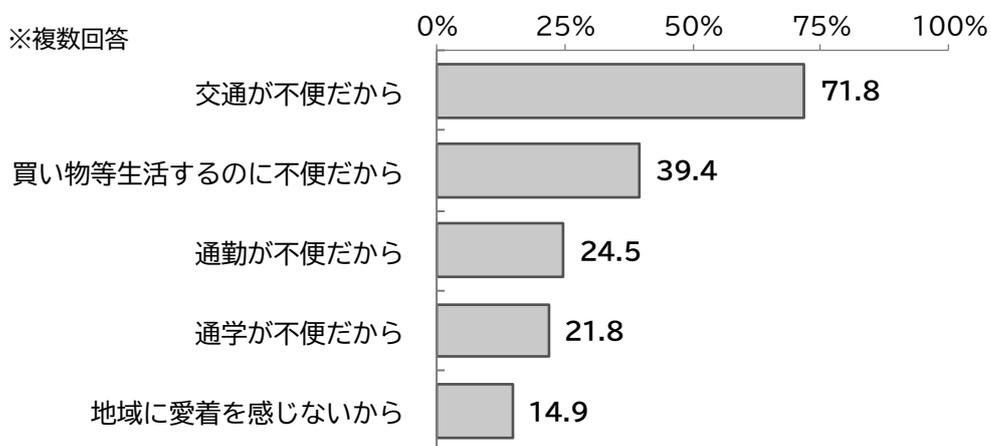
関市が『住みよい』と回答した方にその理由についてたずねたところ、46.9%の人が「自然環境が豊かだから」と回答しています。次いで、「買い物等生活するのに便利だから」、「家族がいるから」、「地域に愛着を感じるから」の回答が続いています。



(n=900)※

● 「関市が住みにくいと思う理由は何ですか」 <上位5位> (※『住みにくい』を選んだ方)

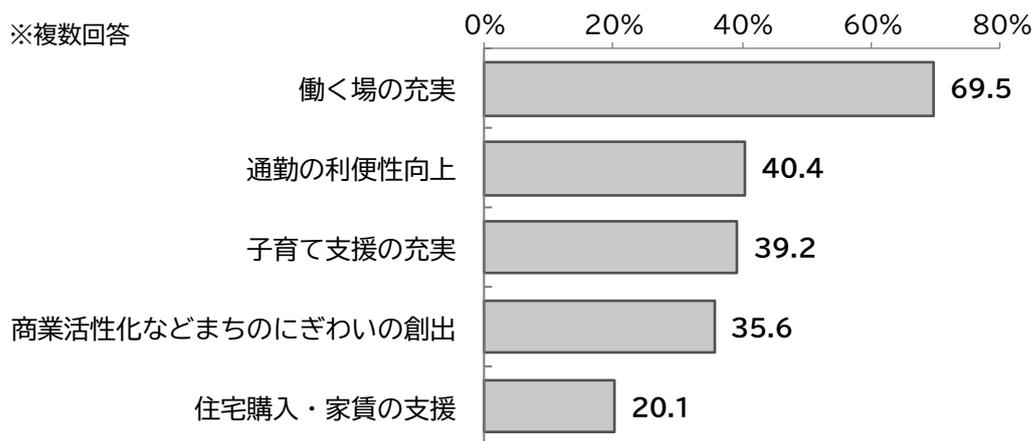
関市が『住みにくい』と回答した方にその理由についてたずねたところ、71.8%の人が「交通が不便だから」と回答しています。次いで、「買い物等生活するのに不便だから」、「通勤が不便だから」、「通学が不便だから」の回答が続いています。



(n=188)※

● 「若年層が住み続けられるために重要なことは何だと思えますか」 <上位5位>

若年層が関市に住み続けられるために重要だと思うことについて、「働く場の充実」が69.5%と最も高く、次いで「通勤の利便性向上」が40.4%、「子育て支援の充実」が39.2%となっています。



(n=1,182)

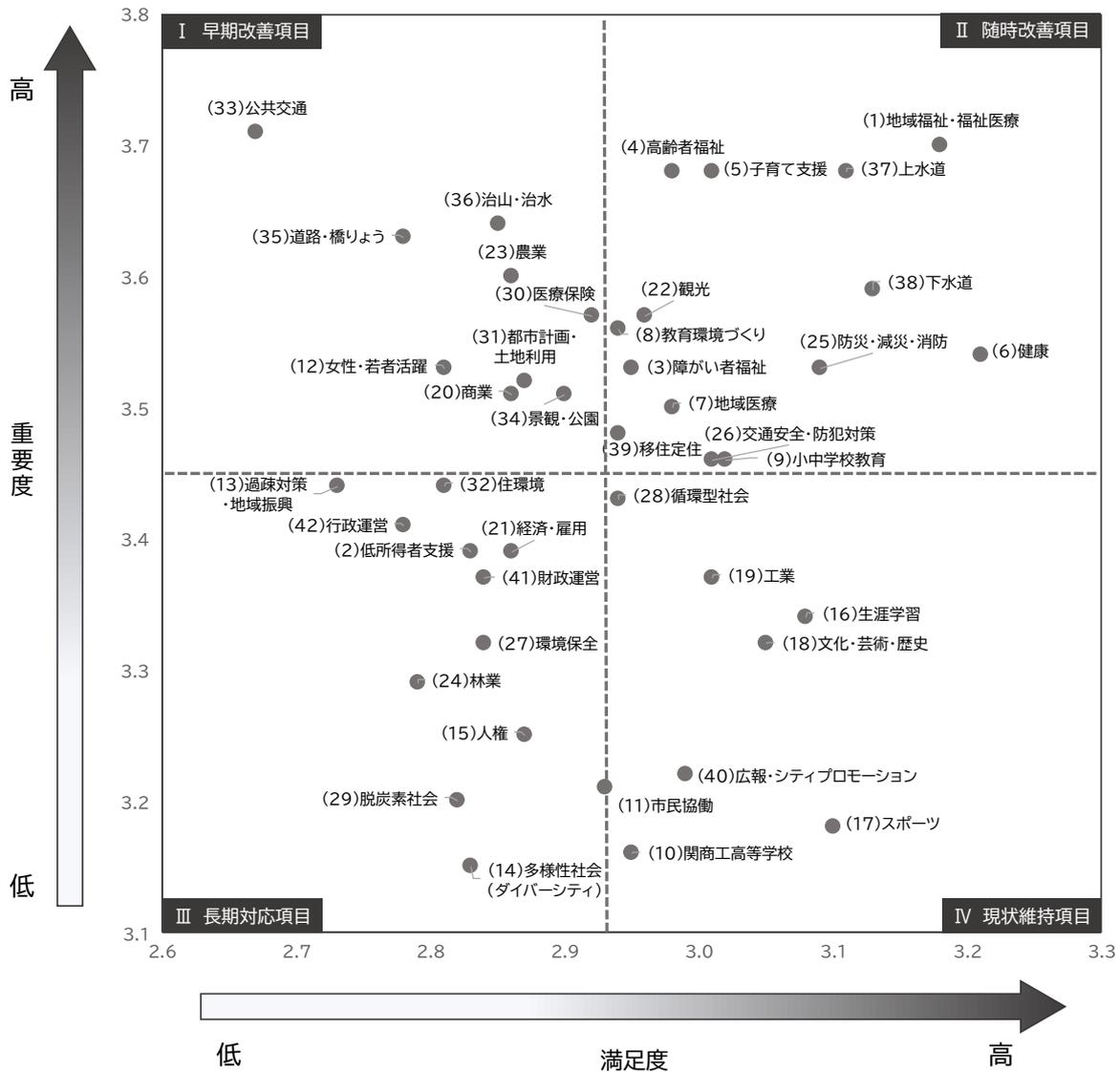
3

市の主な施策の「満足度・重要度」について

「施策の満足度・重要度のポートフォリオ分析」

施策の満足度、重要度を得点化し、算出された得点をもとに平均値を境界として、4つの領域に区分した満足度・重要度の分布図を作成、今後の施策の方向性について分析を行いました。

「<タイプⅠ>早期改善項目」に分類される施策には、「(33)公共交通」「(35)道路・橋りょう」「(36)治山・治水」「(23)農業」「(12)女性・若者活躍」などがあがっています。



【重要度と満足度の関係】

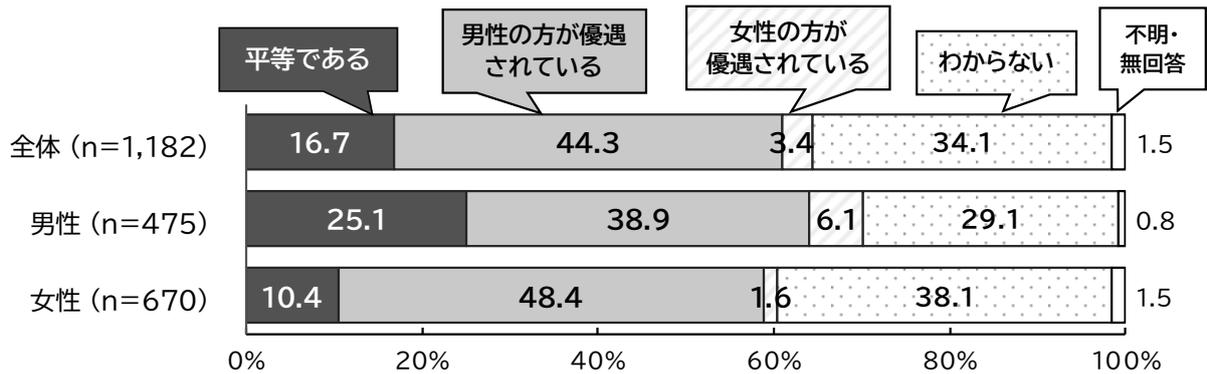
<p><タイプⅠ>早期改善項目 (重要度は高いが、満足度は低い)</p> <p>⇒現在の施策や事務事業を優先して改革・改善すべき施策の分野</p>	<p><タイプⅡ>随時改善項目 (重要度が高く、満足度も高い)</p> <p>⇒今後も継続して事業に取り組めるよう、事業費が過大となっていないか点検するとともに、さらなる事業の効率化を検討する施策の分野</p>
<p><タイプⅢ>長期対応項目 (重要度が低く、満足度も低い)</p> <p>⇒施策の重要性に対する認知を高めるとともに、取組の方向の改善を検討する施策の分野</p>	<p><タイプⅣ>現状維持項目 (重要度は低く、満足が高い)</p> <p>⇒今後も着実に事業の推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高める施策の分野</p>

4

まちづくりへの意識と取組について

● 「あなたは、社会全体として男女の地位が平等であると感じますか」

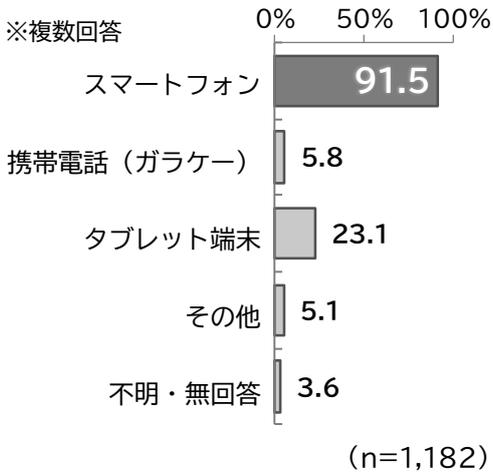
男女の地位の平等意識について、「男性の方が優遇されている」が44.3%と最も高くなっています。男女別にみると、男性では女性より「平等である」の割合が高く、女性では男性より「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



● 「あなたが所持している通信機器を教えてください」

所持している通信機器について、全体の約9割が「スマートフォン」を所持していると回答しています。年齢別でみると、30歳代以下で「スマートフォン」の所持率が100%となっています。一方、40歳代以上では、年代が上がるにつれて「スマートフォン」の所持率が徐々に低くなっています。

【全体】



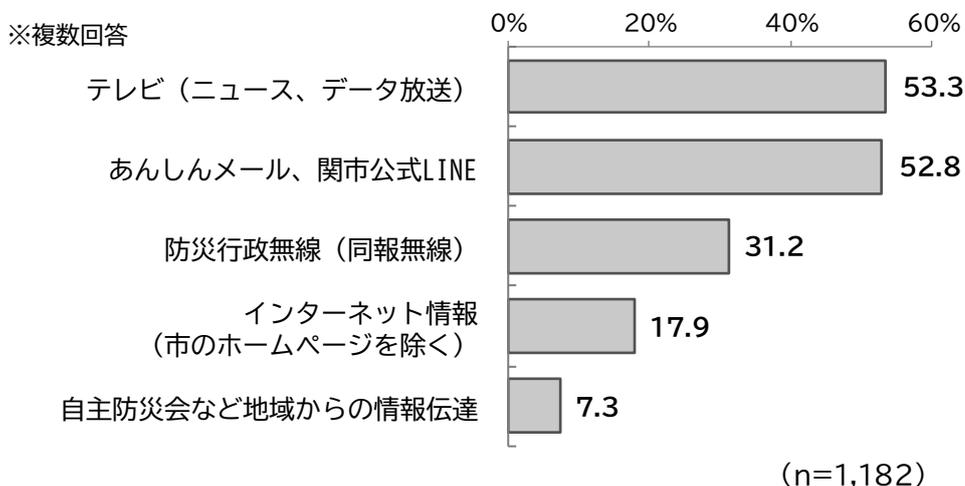
【年齢別】

単位: %

	スマートフォン	携帯電話 (ガラケー)	タブレット端末	その他	不明・無回答
10歳代・20歳代 (n=71)	100.0	0.0	32.4	5.6	0.0
30歳代 (n=112)	100.0	0.9	46.4	5.4	0.0
40歳代 (n=169)	99.4	3.6	32.5	3.0	0.0
50歳代 (n=225)	98.2	2.7	22.2	4.4	0.4
60歳代 (n=273)	93.4	8.1	20.9	6.2	0.4
70歳以上 (n=299)	84.9	11.0	12.0	6.0	2.7

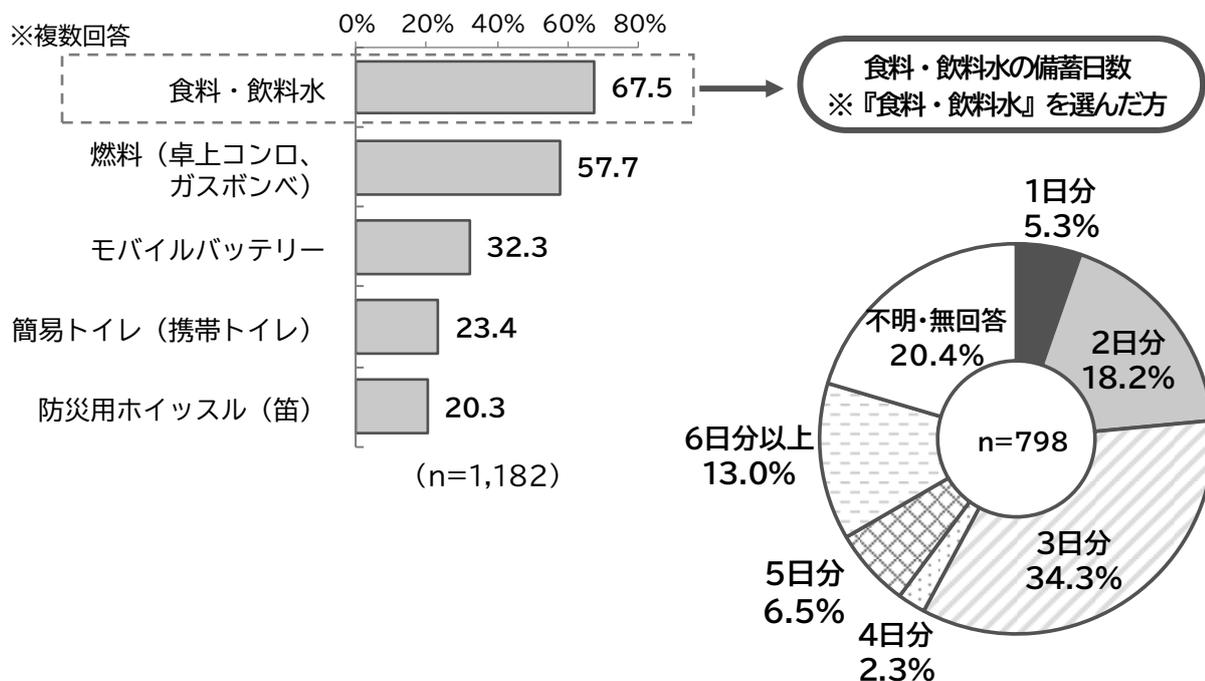
● 「災害が発生したときやその危険性が高まったとき、気象情報や避難に関する情報で重視しているものは何ですか」 <上位5位>

気象情報や避難に関する情報で重視しているものについて、「テレビ(ニュース、データ放送)」、「あんしんメール、関市公式LINE」がそれぞれ約5割となっています。



● 「あなたの家では災害用備蓄品として何を準備していますか」

災害用備蓄品について、「食料・飲料水」を準備していると回答した方の割合は67.5%となっています。また、「食料・飲料水」と回答した方のうち、備蓄日数についてたずねたところ、「2日分」「3日分」の回答が多く、合わせて全体の約5割となっています。

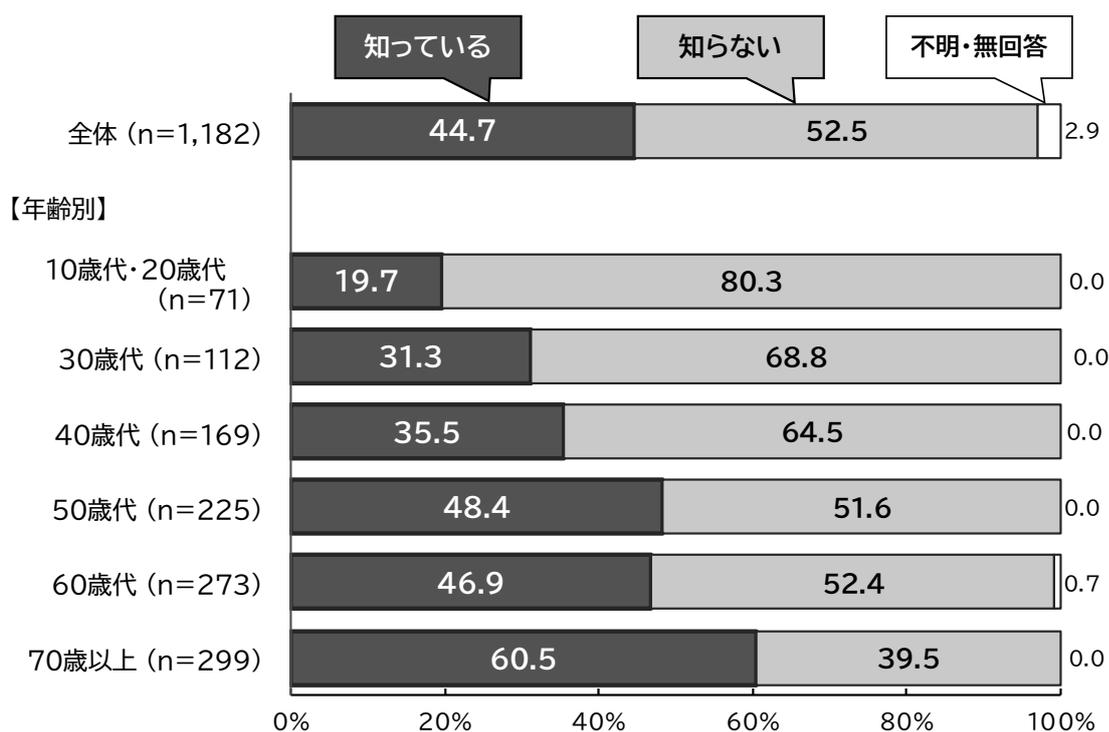


● 「あなたは、関市高齢者運転免許自主返納者等支援事業※を知っていますか」

関市高齢者運転免許自主返納者等支援事業について、「知っている」と回答した方の割合が44.7%、「知らない」と回答した方の割合が52.5%と、「知っている」の割合が「知らない」を下回っています。年齢別にみると、年代が上がるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で認知度が約6割となっています。

※関市高齢者運転免許自主返納者等支援事業とは・・・

運転免許証を自主返納された高齢者の方に、関シティバスや地域内バスの運賃が3年間無料になる乗車証を交付する事業です。



令和5年度アンケート調査（せきのまちづくり通信簿）調査結果【結果報告書・概要版】

発行年月：令和6年3月

発行：関市

編集：市長公室 企画広報課

岐阜県関市若草通3丁目1番地

TEL 0575-22-3131（代表）

FAX 0575-23-7744